

「木質ペレット認証申請、ペレットによる発電ペレット燃焼機器の普及に関する勉強会」

◆日時：平成30年9月21日（金曜日） 13時30分（開場）13：40～16：30

◆場所：東京都台東区東上野3丁目24番6号 台東区東上野区民館 401会議室

- ◆内容： 【挨拶】 13：40～13：50 日本木質ペレット協会の役割 会長 岡本利彦
【講演】 13：50～14：20 「JPA 燃料用優良木質ペレット認証申請について」
日本木質ペレット協会 事務局長 山田 昌宏
15：10～16：00 「国内ペレット量産工場について」
遠野興産株式会社 代表取締役社長 中野光 様
15：10～16：00 「ペレットストーブの品質基準と需要拡大について」
株式会社さいかい産業 代表取締役社長 山後春信 様

◆参加者：41名

◎岡本利彦 会長 挨拶



優良木質ペレットの重要性の一環として、JAS規格の策定を当協会が中心となって、関係機関と一緒に推し進めている状況の説明があり、今後ますます国内ペレットの需要拡大を図り、ペレット燃焼機器の普及にも協会として積極的に取り組んでいく意気込みを話されました。

◎日本木質ペレット協会 事務局長 山田 昌宏



木質ペレット製造業者様へ認証申請のプロセスを理解していただくため、分かりやすい詳細な説明であった。多くの認証ペレットが誕生するには、製造業者様に認証申請をしていただくことが重要であるとの思いが伝わってきた。

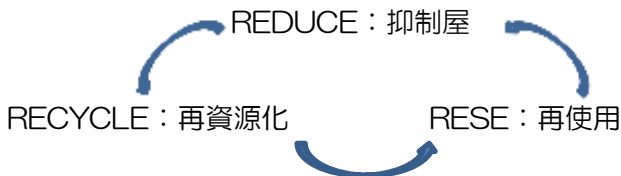
「燃料用優良木質ペレット認証申請について」

一般社団法人
日本木質ペレット協会
事務局長：山田 昌宏
2018年9月21日

◎遠野興産株式会社 代表取締役社長 中野光 様



木質ペレット製造を手掛ける経緯から、量産工場に発展した事業展開には、遠野興産の理念である「3R」



を着実に実践されてこられた結果であること、5つの工場のプラントについて簡潔な説明等、興味は尽きない内容であった。

国内ペレット量産工場について

遠野興産株式会社
代表取締役社長 中野 光

一般社団法人 日本木質ペレット協会 勉強会
2018年9月21日



◎株式会社さいかい産業 代表取締役社長 山後春信 様



石油ストーブや薪ストーブに比して劣らないペレットストーブを如何に普及させるかと理路整然と話され消費者の声に耳を傾け、ひたすら安全・安心を追及してきた自社の取組（業界全般で共通のこと）を展開し常に消費者の立場に立つことが普及の大きな要因であることが理解できた内容であった。

ペレットストーブの品質基準と需要拡大

株式会社さいかい産業
代表取締役社長 山後春信

一般社団法人 日本木質ペレット協会 勉強会
2018年9月21日

ペレットストーブの品質基準と需要拡大

ペレットストーブの普及のために必要なこと

- ① **ペレットストーブの魅力（認知度向上）**
「炎のある暮らし」「他の暖房器具と違う本物の暖かさ」
- ② **ペレットストーブの安全・安心（満足度向上）**
「燃料品質」「ストーブ品質」「設置工事品質」
- ③ **ペレット燃料の流通インフラ**

1

－ 熱心に聴講される参加者の皆様 －



最後に質疑応答が行われ、今後の協会の取り組みに示唆する質問もあり、当協会に対する期待をお持ちいただいていることを強く感じました。

ご参加者の皆様ありがとうございました。

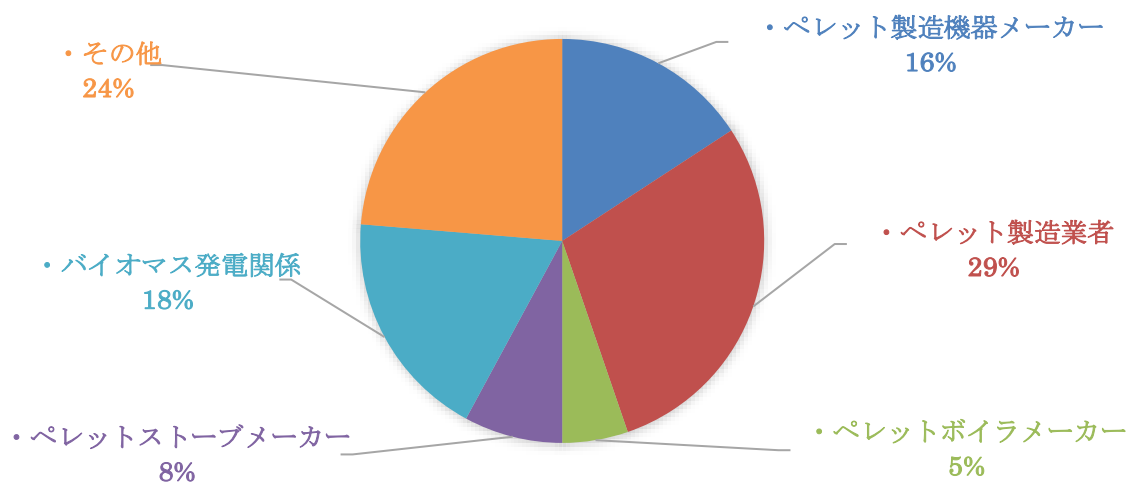
以下に当日いただきましたアンケートの集計結果を公表いたします。

ご協力いただき誠にありがとうございました。

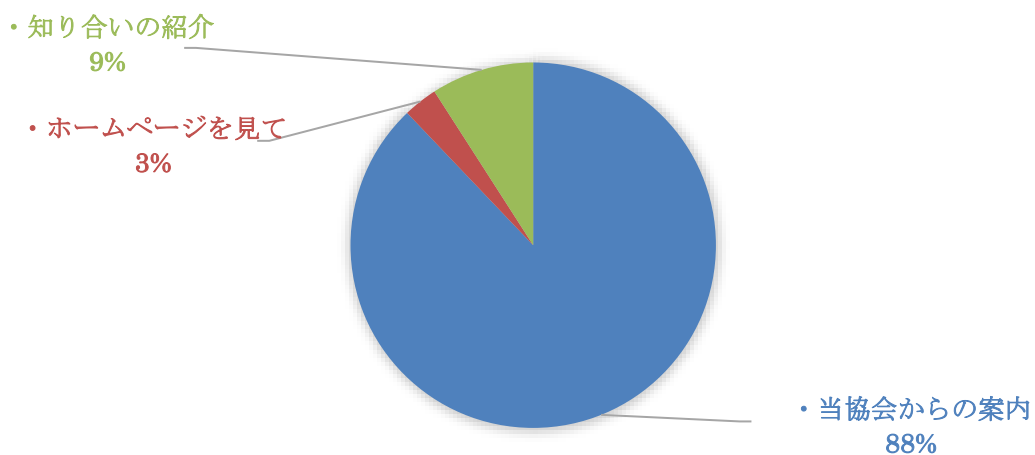
貴重なご意見は、今後の協会活動に役立たせていただきます。

アンケート結果（複数回答あり）

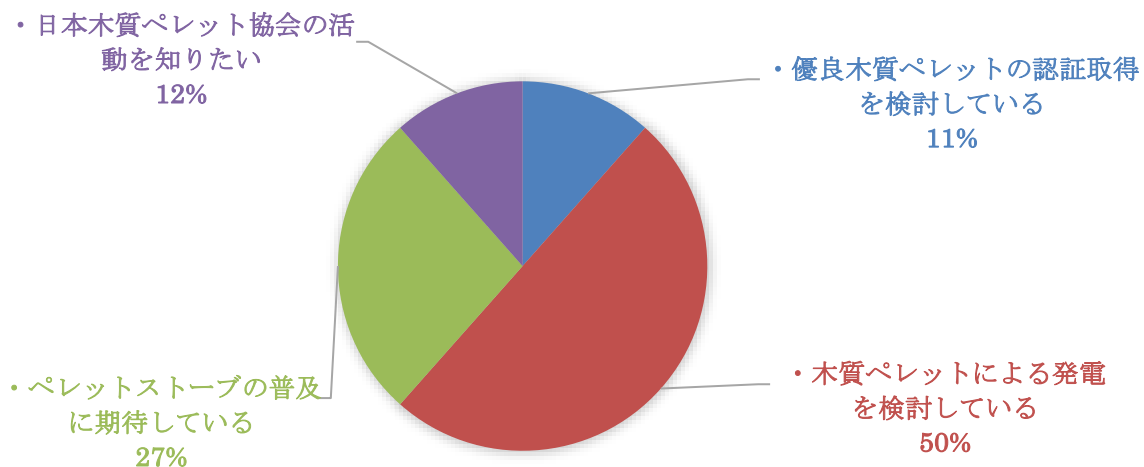
1. 参加者の業種



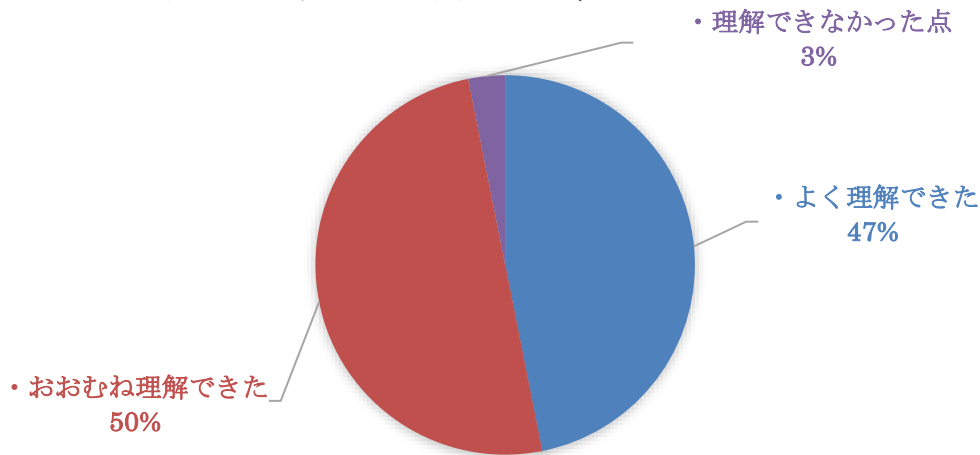
2. 説明会を知った経緯



3. 説明会の参加理由

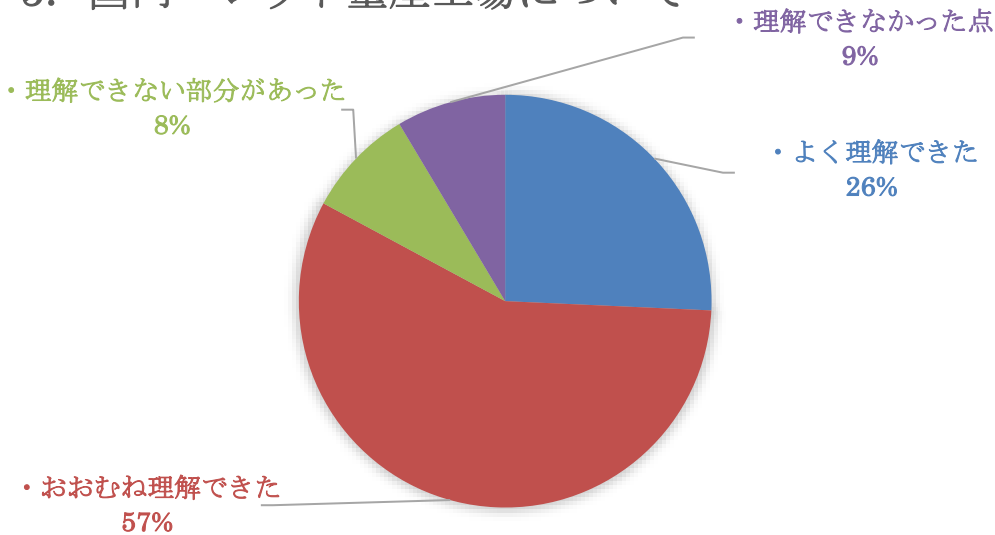


4. 認証取得の手順の理解



4. 理解できなかった点
- ・ 燃焼材器側の試験を追加すべきではないか？着火性等はA、B、Cグレードだけで判断できるのか？

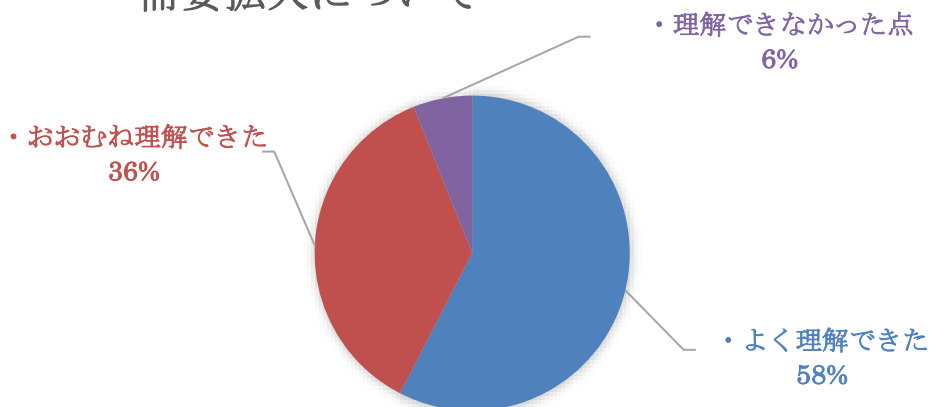
5. 国内ペレット量産工場について



5. 理解できなかった点
- ・ 放射能汚染材の現状、なんとなく問題ないように聞こえたが本当にそうか？
 - ・ 工業用ペレット（石炭火力混合、ガス代）と民生ペレットの品質に違いはあるのではないか？
 - ・ プラント設備などのベースの知識がないので言葉が分からず

ついていけない部分がありました。

6. ペレットストーブの品質基準と需要拡大について



6. 理解できなかった点
- ・ ペレット品質（A、B、C どれでも OK か？）
 - ・ ストーブの構造などよくわからずぴんとこなかった。

7. 今後の日本木質ペレット協会に期待することがありましたらお聞かせください。

- ・ 規格化、輸入ペレットの認証制度、国内生産量を増やす手法は何か？
- ・ 工業用ペレットの普及がペレット全体の起爆剤になると思うので、工業用の規格も確立して欲しい。
- ・ 燃料 JAS 化期待しております。